

混ぜれば「ごみ」でも分ければ「資源」！

燃やせるごみと燃やせないごみを回収すると、その中にも空き缶やペットボトルなど多くの資源ごみが混ざっています。時には燃やせないごみ袋にいっぱい空き缶を出す方もいます。

「集めるときに分ければいいじゃないか」と思われる方もいるかもしれませんが、これでは時間と手間が足りません。

生活をする中でごみは出るものです。少しずつでも正しく分別していくことで、多くが資源に生まれかわります。

みんなで環境にやさしい暮らしを実践していきましょう。

分別方法や排出方法がわからない場合には、生活環境課にお問い合わせください。



こんなことにも貢献しています。

みなさんの家庭から排出された空き缶やペットボトルは、西いぶり広域連合に搬入され、資源として売却しています。

その売却益は、町のごみ処理費用に充てられているんですよ。

あなたの飼い方まちがっていませんか？

ペットの飼育マナーが悪く苦情があとを絶ちません。

放し飼いや散歩のときのフンの始末が悪いといった通報がほとんどです。

世の中には動物が好きな人も入れれば苦手な人もいます。自分勝手な理屈だけでなく周りの人のことも考え、必ず係留して飼育してください。

フンの苦情の多い所には「フンを持ち帰りましょう」といった看板を立てていますが、そんな看板だらけのまちは嫌じゃないですか……。

みんながマナーを守って安心して暮らせるまちにしましょう。

それはホントにやさしいこと？

「おなかをすかせている野良犬・野良猫にエサをあげたい」という気持ちは人として誰もがもっている大切な気持ちでしょう。しかし安易な気持ちでエサを与えた結果、不幸な犬や猫をどんどん増やしてしまうということにつながりかねません。

むやみにエサを与えることは止めましょう。



まち美化ボランティア

すでに多くの団体、個人の方が活動しています。

美しい洞爺湖の自然や道路、公園など地域の公共の場をみなさんの手できれいにしてみませんか？

【登録状況】

- 個人22名
 - 団体17団体 (493名) (12月20日現在)
- 登録は引き続き受け付けています。



ー活動紹介ー

本町 6区にお住まいの菅原勇さんが30 Pを達成されました。

菅原さんは主に町道沿線のごみ拾いをほぼ毎日のように行っています。

みなさんの家のそばでも活動してくれているかもしれませんね。